

## ごあいさつ

我が国をはじめとする先進各国は、20世紀までの大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会を見直し、将来の世代にわたって持続可能な新しい社会経済システムを構築していくことが求められています。21世紀は、経済活動を環境の観点から見直し、科学技術をむしろ地球環境問題の解決のために使い、廃棄物をゼロにするゼロエミッション型の循環型社会へ変革していくことが、現代を生きる私たちの課題であると思います。

一方、気候変動枠組条約に基づき温室効果ガス削減目標などを定めた京都議定書は、早ければ来春にも発効される見通しです。今後、温室効果ガスを排出する企業の削減努力が厳しく評価されることが予想され、事業収益向上のみならず環境対策においても確固たる成果を挙げていくことが企業存続の条件であると考えます。

当社の役割は、情報流通サービス(IT)の提供によって、持続可能な社会の実現に貢献することです。ITは、循環型社会構築のためのインフラとして必須のものであり、社会経済活動を効率化し、社会全体をより環境負荷の少ない方向へと導くことができます。当社は、ブロードバンド市場の創造により世界中がユビキタスな情報ネットワークでつながる社会の実現を目指し、人々のコミュニケーションをより豊かにする事業活動を展開して参ります。

当社は、発足後4年が経過しましたが、紙資源・CO<sub>2</sub>排出・廃棄物の各環境負荷項目には中長期の削減目標を掲げて実行管理するなど、厳しい経営環境の中、堅実に環境保護対策を進めています。その結果、純正パルプ使用量と産業廃棄物廃棄量は、年々着実に削減してきております。特に、2001年度にメタルケーブルの外被を循環的にリサイクルできる、通信キャリアとしては世界で初のシステムを構築し、2002年度は年間で約430tの廃棄物を削減できました。温暖化対策については、電話網からインターネット網へのネットワークの急激な構造変革により通信電力需要が著しく増大しており、あらゆる省電力化施策を強力に推進していますが、これによるCO<sub>2</sub>排出量は微増傾向にあります。CO<sub>2</sub>排出量抑制への更なる取り組みが当社の喫緊の課題と考えています。

本報告書は、当社の事業活動に伴う環境側面、それに対する取り組みの方針、活動状況等をご報告申し上げるため発行するものです。なお、本年度から、2002年5月の構造改革にともない設立された当社のアウトソーシング業務等を行う新会社であるNTTマーケティングアクトグループ・NTTネオメイトグループの環境保護活動を網羅し、NTT西日本グループ環境報告書としました。この報告書をご一読いただき、当社の環境保護活動をご理解頂くとともに、ご意見等をお聞かせ頂ければ幸いです。今後も引き続き、全社一丸となり、高い志と情熱のもと、地球環境への負荷低減を目指し、環境経営を推進する所存です。

2003年9月



代表取締役社長

上野至大